

補助事業評価シート

番号	51	章	施策28 魅力ある都市空間づくり
----	----	---	------------------

補助事業名	東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟補助金	所管部課	都市計画部都市計画課	事業開始年度	S55 年度
根拠法令(要綱)等	新宿区補助金等交付規則				
19年度決算額 補助率	400,000 円 1/2	補助対象団体(者)	東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟		
補助することで達成しようとしている区の目的	新宿駅東西自由通路を開設します。				
団体(者)に対する直接の助成目的	東西自由通路の開設実現に向け地元総意を結集し、早期開設の機運を増進するための同盟活動に対する運営を補助します。				
補助金の申請	補助金の交付申請にあたって提出する書類・添付書類 事業計画書 歳入歳出予算書 同盟役員名簿 東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟規約	補助金の清算/実績報告	清算/実績報告にあたって提出する書類・添付書類 事業計画書 歳入歳出予算書 同盟役員名簿 東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟規約 同盟ニュース及び啓蒙活動成果品		
	審査の体制・考え方(区職員による審査又は公募委員を入れての審査、補助金の目的とする具体的な取組内容を記載した事業計画書を提出しているか・どのように審査しているか等) 事業計画書・歳入歳出予算書は、区職員が事業計画に即した助成が審査します。		審査の体制・考え方(清算/実績報告時の審査体制、助成の目的・決定内容に照らして、自己評価・活動成果の公表状況を踏まえ、予定していた目的・成果が達成できたか・どのように審査しているか等) 事業報告書・歳入歳出決算書は、区職員が審査し、清算を承認します。 同盟文書件名簿及び通帳・領収書などに基つき同盟帳簿を区職員が審査します。		
今後の課題	東西自由通路の開設は、これまで鉄道で分断されていた新宿駅の東西を繋ぐことで、南口を含めた駅周辺の回遊性が向上し、まちがより一層賑わうことを目指しています。そのためには、通路の開設とあわせ、通路が接続する東口や西口の広場など駅周辺の整備の必要性についても関係者に働きかけていく必要があります。				
	<p>総合評価(A・B・C・D)とその理由 この補助金の総合評価はBです。 理由は、目的としていた東西自由通路の事業着手の見通しが立ったからです。</p> <p>区と補助対象者との役割分担 区も会員(会長・区長)として補助対象者とともに活動を行っています。また、事務局(局長:都市計画部長)として会の運営もを行っています。</p> <p>目標の設定 東西自由通路の整備は、新宿駅周辺の回遊性を高め、まちの賑わいと利便性の向上に寄与するものであり、区民ニーズとも合致しており適切です。</p> <p>代替手段・効率性 区が補助対象団体の会員として予算の執行計画に関与するとともに、事務局として会計を行っていることで、補助金の効果的な執行と適正な管理が行われています。</p> <p>目標の達成状況 目的である東西自由通路の開設に向け、事業着手の見通しが立ちました。</p>				
今後の改革方針	東西自由通路については事業着手の見通しとなりましたが、東西自由通路の整備が、新宿駅周辺における回遊性を高め、まちの賑わいと利便性の向上に寄与するためには、通路と接続する駅の東口と西口の広場をはじめとした駅周辺の整備を検討していく必要があります。 区は今後も、通路の事業着手にあわせて必要となるこうした課題に対し、補助対象団体の会員として取り組むとともに、補助も継続していきます。				